

7月31日(日)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



7/30 NHK 交響楽団 エキサイティング！渋谷から熱風が襲来！

©N.Ikegami



N響の「今」を示す、最良のベト7

木管三重奏と弦楽四重奏のプレコンサートも含め、NHK交響楽団の「今」の技倆と魅力を如実に示したコンサートだった。第1コンサートマスターの篠崎史紀(MARO)は常にゲスト・アシスタント・コンサートマスターの郷古廉を促し、2人で拍手を受ける。ソリストの三浦文彰と郷古は同い年でウィーンに学んだ時期も重なり、

MAROと下野竜也はウィーン留学の先輩で皆、すでに気心知れた間柄といえる。下野と三浦は昨年N響ツアーでブラームスの協奏曲を共演、「今年はブルッフで」となり、少し変わった「3大B」を携えてミュゼに現れた。冒頭のバッハ〜レーガーのコーラル(讃美歌)は深い祈りに満ちて前夜のブルックナーの余韻を受け継ぎ、N響の弦楽セクションの優秀さも強く印象づけた。三浦のブルッフはストラディヴァリの名器から太く安定した美音を引き出し、N響のマッチョなサウンドとともに骨格のはっきりした音楽を造形、後は聴く人それぞれの想像力に委ねる「大人の演奏」だった。アンコールの無伴奏は「アルプス一万尺」の旋律で客席の

笑いを誘ったのも束の間、続く超絶技巧のエスカレートにどよめきができ、最後は水を打ったように静まり返った。後半の「ベト7」はホルン4本の他は2管、弦は14型(第1ヴァイオリン14人)の古典編成ながら、下野はN響をフルに鳴らし、管楽器ソロの名演を際立たせることも忘れなかった。過度の思い入れを排して一直線に進むうち、サムライ映画の合戦シーンのような悲壮感も漂う。日本人の指揮者とオーケストラの組み合わせの妙が、最良の形で発揮されていた。(池田卓夫・音楽ジャーナリスト @いけたく本舗®)

【明日の朝刊休みます】明日(8/1)は休演日のため、本紙の発行もお休みさせていただきます。次号発行は8/2です。



左から篠崎史紀(第1コンサートマスター)、下野竜也(指揮)、三浦文彰(ヴァイオリン)、郷古廉(ゲスト・アシスタント・コンサートマスター)

お客様から

下野さんのプログラムは最高!音楽の楽しさを実感しました。ドイツ名曲をN響の重厚な演奏・三浦さんの超絶技巧で堪能しました。また来年も来たいです(60代・ミッキー)/学生割引がとっても嬉しいので、学生のうちに沢山公演を観たいと思います!(20代・学生・すししし)/ティンパニーがとくにかっこいい。(10代・こーてい)/ベートーヴェンの7番をN響でミュゼで聴ける幸せ。下野氏の躍動感がある、渾身の指揮、それに応えるN響の皆さん、低音の響き、夏の暑さを吹きとばす。圧倒的な響きでした。幸せなひとときでした。(50代・K.S)/N響をホールで聴くことがなかったのですが実際に会場で聴くことも楽しいですね。アイコンタクトや笑顔での演奏。これはテレビの放送の時のような硬さがなくて(ライブ感というのでしょうか)ウキウキさせていただきました。来年も是非行きたいです!!(そら)/初めてのマエストロ下野、エネルギーでユーモアに溢れてる!初めての三浦文彰、Genius!初めてのN響、音の厚みと響きが違う!大好きなブルッフのコンチェルトからベートーヴェン#7。音楽の歴史に包まれて今ここに自分が存在していることの感謝を大いに感じました。(50代・パート・K)

配信控え室から

サマーミュージックは配信も充実!
見どころ・聴きどころや
配信の現場の声を届けます。

ベートーヴェンの7番の配信は4回目、我々チームの十八番です。でも各楽団さんが使用されるスコアと配信チームのスコアが違うから、3楽章のリピートに毎回苦労しています。実は今回もドキドキでした。スリル満点の?映像をお楽しみください。

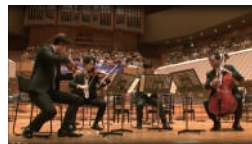
(From スイッチャー)



上記レビュー公演のアーカイブ配信は 8/1(月)正午から開始!

- 【出演】指揮：下野竜也
ヴァイオリン：三浦文彰
- 【曲目】J.S. バッハ(レーガー編)：
「おお人よ、汝の大なる罪を嘆け」BWV622
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
ベートーヴェン：交響曲第7番
- 【配信限定コンテンツ】
オープニングインタビュー：三浦文彰(ヴァイオリン)
休憩時インタビュー：森田昌弘(NHK交響楽団 第2ヴァイオリン首席奏者)

プレコンサート
(約30分も)どうぞ!





ミュージーザのパイプオルガンにふれてみませんか？

ピアノとパイプオルガン、どちらも鍵盤楽器ですが、音の出る仕組みはまったく違います。ピアノはハンマーで弦をたたき打楽器、オルガンはたくさんのパイプに風をとおして鳴らす管楽器です。ピアノは鍵盤を強くたたけば音量が変わりますが、オルガンは鍵盤をたたこうがゆっくり押さえようが、音量は変わりません。この他にも、違いはたくさんあります。



今日のコンサートへご来場のみなさまの多くは、きっとピアノに慣れ親しんでいらっしゃるのではないのでしょうか？身近なピアノと、似て非なるオルガン……。ちょっと興味がわいてきませんか？

ミュージーザ川崎シンフォニーホールでは、パイプオルガンのレッスンを実施しています。先日、ちょうど短期レッスンの募集が終わり、8/8から体験とレッスンがスタートします。冬からは長期レッスンを予定しています。こちらは9月頃に募集を開始予定。人数や学年、習熟度に制限はありますが、ホールの大きなオルガンに触れることのできる、なかなかない機会です。ちょっとでも興味がわきましたら、まずはご応募ください。

詳しくはミュージーザの体験イベントを案内する特設サイト『わくわくミュージーザ』に掲載されます。他にもさまざまなイベントやワークショップ情報を掲載しています。ぜひご注目ください！（事業企画課 も）

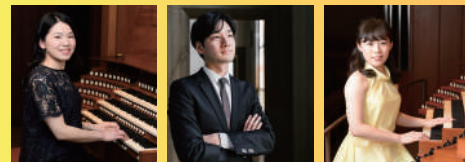
くわしくは…

[わくわくミュージーザ](#)

[検索](#)



パイプオルガンの音色をきいてみたい！という方には、こんな公演もおすすめ



三上郁代

大平健介

石川=マンジヨル優歌

ホールアドバイザー 松居直美企画

言葉は音楽、音楽は言葉 vol.4 〈あした〉

10月1日(土)14:00 開演

【出演】

パイプオルガン：三上郁代、大平健介、石川=マンジヨル優歌

【曲目】〈三上〉J.S. バッハ：幻想曲とフーガハ短調 BWV537 / オーベルタン：星のためのソナチネ 他

〈大平〉ロッシニ：『小莊嚴ミサ』より「宗教的前奏曲」 / ヨハンセン：賛美（日本初演）他

〈石川〉ドビュッシー：月の光 / ヴィドール：オルガン交響曲第10番「ロマネスク」より終曲 他

【チケット】全席指定 ¥3,500 U25(小学生～25歳) ¥1,000



パートナーショップのご紹介
エンジョイ！
川崎！！
Enjoy Kawasaki

暑い夏、ホール内は快適な涼しさ。じっくりコンサートを鑑賞すると、結構カラダが冷える。そういう時は、温かい汁物、香港名物の海老ワンタン麺でリフレッシュ。お値段は税込で、ランチタイムは1,300円、夜は1,450円。

私の勝手な持論で恐縮ですが、

目にも舌にも快い、名店中華の逸品

中華の名店は「麺」で分かると思いませんか？固めでツルツとした香港風の細麺に、シンプルだが複雑な旨みが感じられる塩味のスープ。美しい青菜と、大きくてプリプリな海老ワンタンが沢山！

パートナーショップ特典はワンドリンクサービス、しかもビールやスパークリングワインでもOKとはありがたい。まあ、ワンドリンクで終われない意志の弱い私には「魔の呼び水」でもありますが(笑)。

(もと)

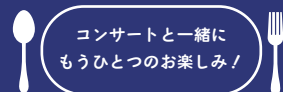


過門香点 (かもんかてん)

C ホテルメトロポリタン川崎 1階

パートナーショップ特典

ワンドリンクサービス ※同伴者も利用可



PARTNER SHOP



↑サービス対象店舗はこのPOPが目印！
スマホからクーポン券を提示するだけ！
クーポン券は7/23～8/11まで
何度でも利用できます。
公演がない日でももちろんOK！

フェスタサマーミュージーザ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#フェスタサマーミュージーザ
#夏ジャン
で検索 & 投稿
お待ちしております！



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

ほぼ 日刊サマーミュージーザ
Hobo Nikkan Summer Muza

本日はフェスタサマーミュージーザの7月を締めくくるのはなんと3つの公演。ミュージーザ川崎シンフォニーホールでは昼、夜と2つの公演を、昼公演はこどもと一緒に家族みんなで楽しめる「イツツァーピアノワールド」♪夜公演は「超絶技巧のロシアン・ピアノニズム」ロシアの作曲家の名曲を、超絶技巧炸裂の2台ピアノで！そして本日の会場はミュージーザだけではありません。出張サマーミュージーザ@しんゆり！と題し、新百合ヶ丘にある昭和音楽大学「テアトロ・シリーオ：シヨウワ」を会場として東京交響楽団の公演を行います！

私たちアルバイトは、ポスターやチラシ、お配りするプログラムの準備などを行っています。お客様に安心して楽しんでいただけるよう誘導や検温を行うのも私たちの役目です！今年のサマーミュージーザで最大公演数となる本日は、そんなアルバイトも総動員！ミュージーザ組としんゆり組に分かれ、各会場の皆様をお迎えしています♪ (アルバイト ね)

スタツフ日誌